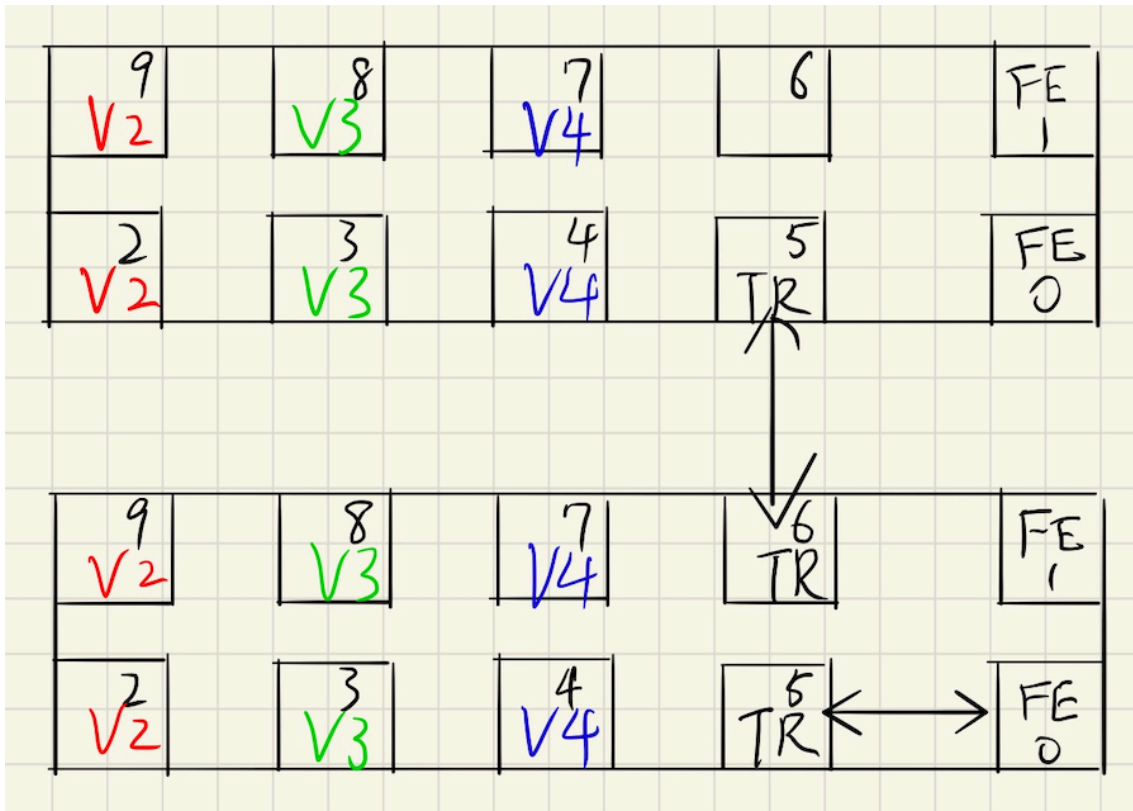


実習6 サブインターフェースを使った VLAN 間通信



VLAN の割当とトランクポートの設定は実習 1 を参照する。ここでは省略する。

物理的な接続は：

VLAN/トランクポート	ポート番号
VLAN2	9、2
VLAN3	8、3
VLAN4	7、4
TRUNK	SW1:5 SW2:5、6

サブインターフェースの設定のコマンドは：

SW 2 のコンフィグレーションにて

最初の、interface fastethernet 0

no shutdown

exit

次は：

interface fastethernet 0.1

encapsulation dot1q 2

ip address 192.168.2.1 255.255.255.0

exit

interface fastethernet 0.2

encapsulation dot1q 3

ip address 192.168.3.1 255.255.255.0

exit

interface fastethernet 0.3

encapsulation dot1q 4

ip address 192.168.4.1 255.255.255.0

このように設定したら、PC が異なるポートとつながって、各々の IP アドレスを設定するだけで、互いに繋がれる。

例)

PC 名	スイッチ	接続ポート	IP アドレス	マスク	デフォルトゲートウェイ
PC 1	SW 1	9	192.168.2.2	255.255.255.0	192.168.2.1
PC 2	SW 2	3	192.168.3.2	255.255.255.0	192.168.3.1

PING の応答が互いにしてくれば、成功のことだ。